

## 学位論文審査の結果の要旨

長沼 知子

本研究はツキノワグマ個体群内の食性の多様度を検証するとともに、個体学習および社会学習がツキノワグマの食性の多様度に与える影響を評価することを目的とした。その結果、個体の性別、年齢、ブナ科堅果の結実豊凶が要因となり、個体群内に1年を通じて食性の多様度が生じることを明らかにした。また、繁殖期の食性は母親からの社会学習が影響する可能性を明らかにした。さらに、繁殖期の有蹄類の食物としての利用においては、オスでは個体学習が影響すること可能性を明らかにした。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。